

日本福祉のまちづくり学会 身体と空間特別研究委員会主催
「視覚・聴覚・触覚に関する応用編連続セミナー」
—プラスのデザインからマイナスのデザインへ—
第1回セミナーのご案内

1. セミナーの趣旨

超高齢社会の進展する中、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、競技施設や公共交通施設を中心に障害当事者参加の下でバリアフリー整備が急速に進められています。近年では、これまで検討の対象となっていなかった知的・精神・発達障害などその範囲も拡大してきています。一方で、建築計画や建築デザインなど空間の本質まで踏み込んでの議論は未だ稀にしか行われていないのが現状です。

このような動向を、私たち「身体と空間特別研究委員会」は、より本質的な議論をおこなうための契機にしたいと考えました。みなさんは、バリアフリーやユニバーサルデザインなどと呼ばれる分野が、今後どのような方向を目指すべきなのか、具体的なイメージをお持ちでしょうか。

そこで私たちは、2016年に視覚・聴覚・触覚に関する基礎講座を開催し、身体のさまざまな器官（眼や耳など）を通して空間の一端（光や音などの情報）を受けとり、空間の性質（移動可能性や危険性など）を理解し、そして身体のさまざまな部位（手足や骨格など）を用いて空間を利用する（移動する・危険を回避する・乗り物を使うなど）といった人間の行動や人体の構造について、基本的かつ本質的なことを再確認しました。

更に、私たちが主催したこれまでの公開研究会では、これからの時代に必要とされるまちづくり・ものづくりの動向について、①都市生活者や施設利用者のニーズをとらえ、ニーズの優先度も含めたさまざまな条件をふまえて、エビデンスに基づいて統合すること、②従来の「プラスのデザイン」ではなく、「マイナスのデザイン」をおこない、まちづくり・ものづくりに落とし込んでいくことが必要である、という議論をおこなってきました。

ここで言う「プラスのデザインからマイナスのデザインへ」とは、必要とされるニーズ、すなわち情報を排除するという意味ではありません。音環境を例にすると、移動支援用音案内を規定したJISでは、移動支援用音案内は、周辺環境音（暗騒音）より10dB以上大きいことが求められています。この場合、暗騒音が高い環境ではそれを超えるより大きな音で音案内を提供しなくてはなりません。ここで考えるべきは、暗騒音を下げることによって小さな音でも明瞭に聞こえる環境を創るということではないでしょうか？音案内・音サインに対するコンフリクトを解消するばかりでなく、難聴者にとっても聞こえやすい環境を創ることができ、多くの人にとって快適な環境を創造できるということです。

こうした問題をふまえて、私たちは、ユニバーサルデザインの考えかたに基づきまちづくりをおこなう上で必要なことについて、現場の最前線で活躍されているデザイナー、設計者・計画者、実践的な研究を行っている研究者から事例を通してその考え方をご紹介します。

ようと考えました。これは、新たなデザインのヒントを得られる場となることを期待しています。

学会内外の研究者だけでなく、都市計画家・建築家・デザイナー、行政官や事業者のみならずなどにも広くご参加頂き、知識を深め、まちづくりや施設計画に役立てて頂ければと願っています

(本セミナーは建築 CPD 2 単位を予定しています)。

第 1 回目は、光と音のデザイナーに事例などを通じ「プラスのデザインからマイナスのデザインへ」のデザインの考え方をご紹介します。

講演 1 では石田聖次氏 (LIGHTSCENE) より「プラスのデザインからマイナスのデザインへ」を実現するための光環境のデザインの考え方について事例を交えながらご紹介いただきます。講演 2 では、武者圭氏 (サウンドスケープデザイナー) より同様に音環境についてご紹介を頂きます。最後に、会場の参加者からの質疑を受け、議論をおこないます。

2. 開催日時と場所

日時 2018 年 10 月 17 日 (水) 18:30~20:30

会場 東京大学本郷キャンパス 工学部 1 号館 15 号教室

地図 工学部 1 号館の場所は、以下アドレスをご参照ください。

入り口にて、15 号教室までの案内を掲示します。

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_02_j.html

3. 主催等

主催 一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会 身体と空間特別研究委員会

後援 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団 (予定)

4. プログラム

18:30~18:35 趣旨説明：原 利明 (鹿島建設・身体と空間特別研究委員会委員長)

18:35~19:20 講演 1：(仮) 光環境のプラスのデザインからマイナスのデザインを考える
石田 聖次氏 (LIGHTSCENE・身体と空間特別研究委員会委員)

19:20~20:00 講演 2「(仮) 音環境のプラスのデザインからマイナスのデザインを考える
武者 圭氏 (サウンドスケープデザイナー・身体と空間特別研究委員会委員)

20:00~20:30 質疑応答：司会 松田 雄二 (東京大学・身体と空間特別研究委員会幹事)

5. 費用と定員

受講料 日本福祉のまちづくり学会会員：¥1000 / 非学会員：¥1500 / 学生：¥500

※社会人学生は、学会員若しくは一般扱いとさせていただきます。お申し込み時にご注意ください。

定員 50名（申し込み先着順）

6. お申し込み

電子メールにて、以下の各要項に即してお申し込みください。

宛先 matsuda@arch1.t.u-tokyo.ac.jp（松田）

メールタイトル 「セミナー申し込み第1回 10月17日」

メール本文 (1) お名前 (2) ご所属 (3) ご連絡先メールアドレス
(4) 学会員・学生・非学会員の区別 (5) 情報保障等のご希望
(6) 懇親会への出欠

締め切り 2018年10月15日（月）厳守

7. 情報保障ほか

各種ご希望については、申し込みメールの本文（5）欄にお書き添えください。

情報保障又は託児サービスをご希望の方は、10月3日（水）までにお申し込みください。

※手配などがございますので、厳守でお願いいたします。

なお、内容によりご希望に添えない場合もありますので、予めご容赦ください。

8. 懇親会

懇親会をセミナー終了後に近くのお店で開催します。参加ご希望の方は、申し込み時にメールにその旨をご記載ください。（会費は、実費です。）

※連続セミナーの今後の予定

・第2回

日時：2018年11月22日（木）18：30～20：30

会場：東京大学本郷キャンパス工学部1号館15教室

・第3回

日時：2018年12月中旬

会場：日本大学理工学部駿河台校舎（予定）

・第4回

日時：2019年1月中旬

会場：日本大学理工学部駿河台校舎（予定）

今後ともご期待ください。